

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・ 体育	3年	2	現代高等保健体育 改訂版（大修館）	なし
科目の概要と 目標	心身の健全な育成を図り、運動に親しむ態度を育むとともに、ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得する。生涯を通じて主体的に運動に取り組む姿勢を養う。			
授業の進め方	自ら工夫して活動できるようにする。また、ゲーム・試合・記録会を通して、チーム及び各自の課題発見・解決に向けて練習方法を考え実践するように指導する。			
評価の観点と 方法	体育理論に関しては、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点から評価を行う。また、その他の領域については、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点から評価を行う。			

	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標
年 業 内 容	1 学 期	【体づくり運動】 【選択体育1】 陸上競技（競走・跳躍・投擲） 上記種目より1つ選択する。 【体育理論】 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 持久走、走り幅跳び、ハンドボール投げ、短距離走から種目を選択し、各自の設定した目標の達成とともに、心肺機能を高め、体力向上を目指し、健康増進について関心を持つ。 <ol style="list-style-type: none"> 社会背景とスポーツの相関関係を理解し、将来のライフステージとスポーツを絡めて考えることができる。 スポーツライフを決める要因を学び、これからのスポーツライフを考える。
	2 学 期	【体づくり運動】 【選択体育2】 球技（サッカー、バレーボール、ソフトボール） 上記より1種目選択 【選択体育3】 球技（バスケットボール、ソフトボール、バドミントン、卓球） 上記より1種目選択 【体育理論】 3 日本のスポーツ振興 4 スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> 各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 球技では個人的技能や集団的技能を高め、作戦や状況に応じた動ききを理解し、仲間と連携した動きを高め積極的にゲームに参加する。協力しながら学習内容を考え、大会の企画・運営なども行う。 <ol style="list-style-type: none"> 日本のスポーツ振興の歴史を理解し、住んでいる地域とスポーツの関わりを調べる。 スポーツが環境に与える負荷を考え、スポーツと環境の調和の仕方を話し合う。
	3 学 期	【選択体育4】 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある種目を選択し、効果的な練習方法やトレーニング計画を考え、実践する。また、効果を検証し、資料にまとめて発表する。